

CASBEE Sapporo2014v1.2  
(仮称)北海道コカ・コーラボトリング株式会社 札幌新事業所

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
Q 建築物の環境品質					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境						0.32			2.5
1 音環境					3.0	0.15			3.0
1.1 騒音					3.0	0.40			
1.2 遮音					3.0	0.40			
1 開口部遮音性能					3.0	0.60			
2 界壁遮音性能					3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音					3.0	0.20			
2 温熱環境					2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御					3.0	0.50			
1 室温	A				3.0	0.38			
2 外皮性能					3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性					3.0	0.38			
2.2 湿度制御					1.0	0.20			
2.3 空調方式					1.0	0.30			
3 光・視環境					2.6	0.25			2.6
3.1 昼光利用					1.8	0.30			
1 昼光率					1.0	0.60			
2 方位別開口									
3 昼光利用設備	A				3.0	0.40			
3.2 グレア対策					3.0	0.30			
1 昼光制御	A				3.0	1.00			
2 曇り曇り対策									
3.3 照度					3.0	0.15			
3.4 照明制御					3.0	0.25			
4 空気質環境					2.9	0.25			2.9
4.1 発生源対策					3.0	0.50			
1 化学汚染物質					3.0	1.00			
2 化学汚染物質									
4.2 換気					3.3	0.30			
1 換気量					3.0	0.33			
2 自然換気性能	自然換気有効面積を1/30以上確保				4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33			
4.3 運用管理					2.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視					1.0	0.50			
2 喫煙の制御					3.0	0.50			
Q2 サービス性能						0.30			2.9
1 機能性					3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ					2.3	0.40			
1 広さ・収納性					1.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.33			
3 バリアフリー計画					3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性					4.0	0.30			
1 広さ感・景観	事務室の天井高さ2.7m確保				4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自販機設置				5.0	0.33			
3 内装計画					3.0	0.33			
1.3 維持管理					3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50			
3 維持管理業務									
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震					3.0	0.50			
1 耐震性					3.0	0.80			
2 免震・制振性能					3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数					2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B				1.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔	B				3.0	0.20			
2.4 信頼性					2.8	0.20			
1 空調・換気設備					3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20			
3 電気設備					3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					2.0	0.20			
3 対応性・更新性					3.0	0.30			3.0
3.1 空間のゆとり					3.0	0.30			
1 階高のゆとり					3.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					3.0	0.40			
1 空調配管の更新性					3.0	0.20			
2 給排水管の更新性					3.0	0.20			
3 電気配線の更新性					3.0	0.10			
4 通信配線の更新性					3.0	0.10			
5 設備機器の更新性					3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20			

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
(仮称)北海道コカ・コーラボトリング株式会社 札幌新事業所

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.38	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			C			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	3.3
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				BPI≤0.80	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	4.8	0.60	-	-	4.8
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				BEI=0.90	4.8	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	-
4 効率的運用						2.0	0.24	-	-	2.0
集合住宅以外の評価						2.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					1.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					自動洗浄式小便器を採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減		B			主要構造躯体の鉄筋強度F=355以上440未満	4.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B			-	3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B			-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			内装材世設備が錯綜せず、容易に取り外し可能	4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.9	0.20	-	-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用					ビニルタイル・シート用接着剤に有害物質を含まない	4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						2.5	0.70	-	-	-
1 消火剤		B				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		B				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		B			ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮						2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B			必要対策以上の流出抑制を行っている	4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	ごみの種類や量の推計やごみの減容化などを行っている。	4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-
2 振動						3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-